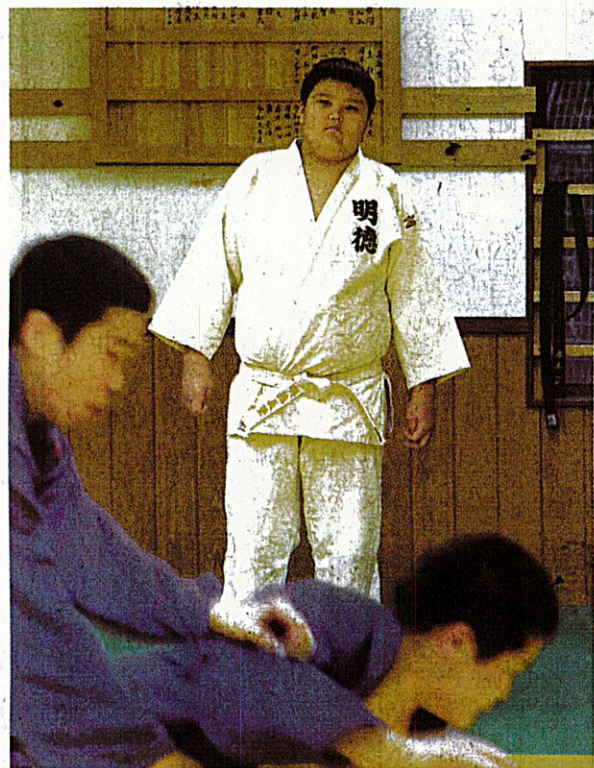


近年力を付けてきた明德義塾中高柔道部。後列左がウリンソルモン・マンドール、右がスクバット・エンフオチラル(写真はいずれも同校柔道場)



明德中高の留学生奮闘



チームメートの乱取りに鋭い視線を送るマンドール

夢は「五輪」「日本」



打ち込み練習に励むエンフオチラル

チームメートの乱取りに鋭い視線を送るマンドール

個人でも81kg級で県内最強のエンフオチラルは身体能力が高く、大外刈りや内股などを切れ味鋭く決める。昨夏のインターハイなどには「スクバット」の名前に

高校団体戦のエースで、個人でも81kg級で県内最強のエンフオチラルは身体能力が高く、大外刈りや内股などを切れ味鋭く決める。昨夏のインターハイなどには「スクバット」の名前に

エンフオチラルは「目標はオリンピック出場。強くなるために日本に来た」と、プレススタイル同様に力強く宣言した。マンドールは「全国ベスト4が目標」と照れ笑い。石崎主将に「どうせなら日本一つで言っておけよ」と促され、今度は真顔で「日本一です」と答えた。

(井上太郎)

実は、同国がオリンピックで最も多くのメダルを獲得した競技は柔道。子ども向けのクラブも多い隠れた柔道大国だ。植垣監督がそこで声をかけた中に、今年1月の全国高校選手権県予選で活躍したスクバット・エンフオチラル(高校1年)や、重量級のホープ、ウリンソルモン・マンドール(中学1年)、昨夏のインターハイに出場し今春高校を卒業のアズジャルガル・トゥブデンジャンツがい

エンフオチラルは「目標はオリンピック出場。強くなるために日本に来た」と、プレススタイル同様に力強く宣言した。マンドールは「全国ベスト4が目標」と照れ笑い。石崎主将に「どうせなら日本一つで言っておけよ」と促され、今度は真顔で「日本一です」と答えた。

監督就任1年目、部員はゼロになった。2年目も新型コロナウイルスの影響で活動できずじまい。そこで3年目の21年から勧誘のため県内外を走り回り、22年12月には同校が古くからパイプを持つモンゴルにも足を運んだ。

2人とも、まだ来日して1年ほどだが日本語の上達はずく、日常会話や練習には全く支障がない。佐川出身の石崎大雅主将(高校2年)は「2人とも、普段は面白いことを言うし、みんなに愛されている」と評する。

監督就任1年目、部員はゼロになった。2年目も新型コロナウイルスの影響で活動できずじまい。そこで3年目の21年から勧誘のため県内外を走り回り、22年12月には同校が古くからパイプを持つモンゴルにも足を運んだ。

2人とも、まだ来日して1年ほどだが日本語の上達はずく、日常会話や練習には全く支障がない。佐川出身の石崎大雅主将(高校2年)は「2人とも、普段は面白いことを言うし、みんなに愛されている」と評する。



近年、高知県柔道界で急速に存在感を増しているのが明德義塾中高だ。まず中学チームが2022年10月の県中学選手権男子団体を初制覇し、以後の県内大会で上位に定着。高校チームも今年1月の全国

明德中高柔道部は1990年ごろ創部。96年に全国高校選手権初出場を果たしたが、その後は大会で勝利を目指すよりも、同校に増

県柔道界にモンゴルの風

えてきた海外からの留学生が日本文化を学ぶ場としての役割に重点が置かれるようになった。部員に日本人がいなかった時期もある。しかしその後、野球部やサッカー部などのように、競技指向の柔道部に転換。そして2019年、強豪の天理大を卒業した植垣監督の27を迎えて強化に乗り出した。

で出場していたが、今年2月4日の県段別団体選権から「エンフオチラル」に変更した。モンゴル人の名前には「姓・名」や「名・姓」ではなく「父の名前・自分の名前」のため、「スクバット」では父の名前で試合に出ることになるからだ。その父、スクバットさんは来日前年の22年11月に死去。父のために頑張ろうという思いは強い。